



東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

国際社会学部

3年次編入オリエンテーション

2026年4月1日@222

14:00-15:00

オリエンテーションの投影資料は、
「大学ホームページ」→「教務関連まとめページ」
→「**学部別第3年次編入生オリエンテーション**」
から入手できます。

教務関連まとめページ (2026年度)

- 2026年度始めの行事予定
- 2026年度履修案内等
- 履修相談コーナー
- ICCアカウントの発行手続きについて
- 学務情報システムについて
- オンライン授業について
- 学部別新入生オリエンテーション
- 履修関連動画・資料 (新入生向け)
- 教科書の購入について
- 授業・試験における合理的配慮について
- 教務関連の主なお問い合わせ一覧



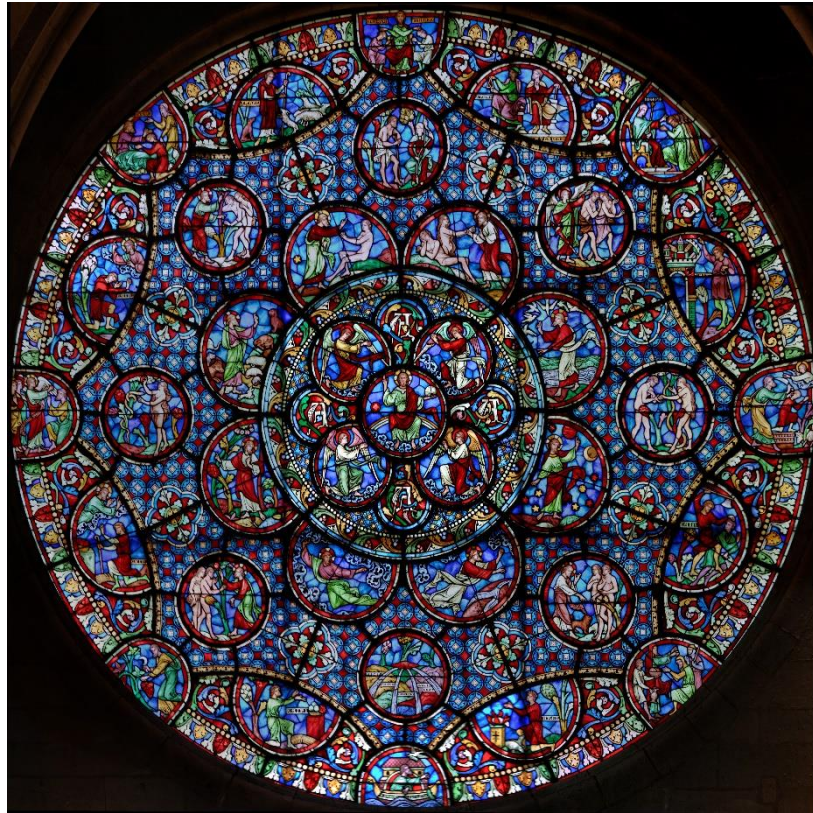
全体の構成

1. 学部長挨拶・学部執行部の紹介
2. 教務関連ガイダンス
3. 学生生活についての注意点



トビタくん

1-1. 学部長挨拶



学部長 千葉敏之 (ヨーロッパ中世研究)



2023.04.13
「イタメル・ウィエフ・ジュニオール花博覧会」『冊がった蘭』一冊がった蘭に、もたらされた新風— A novidade de Torto arado na literatura brasileira



2023.04.15
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第2回) 『世界を学ぶ、世界史を学ぶ』



2023.04.22
TUFU Cinema 南アジア映画特集『ムンナ兄貴とカンティ』



2023.05.13
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第2回) 『世界の言葉に触れてみよう！』



2023.06.03
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第3回) 『大から目線で楽しむチベット文学—「ハバチを育てる話」を中心に』



2023.06.17
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第4回) 『イスラームのいま—写真に見るその多様な姿』



2023.09.02
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第5回) 『ブラック・ライヴズ・マターから学ぶ』



2023.10.14
連続市民講座：世界を学ぶ、世界を生かす (第6回) 『職業としての通訳—通訳の世界』

1-2. 学部執行部の紹介

学部長：千葉 敏之（ヨーロッパ中世研究）地域社会研究コース

副学部長：加藤 美帆（教育社会学）現代世界論コース

学部長補佐：

伊東 剛史（イギリス近代研究）地域社会研究コース

上原 こずえ（社会学）現代世界論コース

木村 暁（中央アジア史）地域社会研究コース

倉田 明子（中国・香港近現代史）地域社会研究コース

2. 教務関連ガイダンス

2-1. カリキュラムと履修について



TUFSクォーター制度

1年間を4つの学期に分ける、多様な授業・プログラム



春学期

4月～
8月上旬

夏学期

8月上旬
～9月中旬

秋学期

9月下旬～
2月上旬

冬学期

2月上旬
～中旬

春学期・秋学期

必修授業の多くが開講される基幹学期

夏学期・冬学期

集中講義、**短期留学**、インターンシップ、
ボランティア活動など

3年次編入生の単位認定

自動認定された62単位をのぞく、

63単位以上を修得してください

自動認定科目一覧

	所属地域	基礎リテラシー	基礎演習科目	教養科目	言語科目			地域基礎科目	導入科目 (所属コース4単位 +他コース4単位)	概論科目 (所属コース)	関連科目
					I	II	GLIP英語科目				
国際社会学部	北西ヨーロッパ、中央ヨーロッパ(ドイツ語)、西南ヨーロッパ、ロシア、中央アジア(ロシア語)、北アメリカ、イベリア、ラテンアメリカ、東アジア、中東(アラビア語)	1	2	16	10	10	/	6	8	4	5
	中央ヨーロッパ(ポーランド語、チェコ語)、中央アジア(モンゴル語)、東南アジア、南アジア、中東(ペルシア語、トルコ語)	1	2	16	20		/	6	8	4	5
	アフリカ	1	2	16	14		6	6	8	4	5
	オセアニア	1	2	16	12		8	6	8	4	5

進級要件??

履修案内
p.26

授業科目の種類と4年間の履修イメージ

科目区分	年次 学期	第1年次		第2年次		進級要件 単位数	第3年次		第4年次		卒業所要 単位数※1
		春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期		春・夏学期	秋・冬学期	春・夏学期	秋・冬学期	
基礎科目	基礎リテラシー					1					1
	基礎演習					2					2
教養科目	教養科目※2										16以上
言語科目	専攻言語科目※4					15※3					36以上
	諸地域言語科目										
	教養外国語科目										
	GLIP 英語科目										
地域科目	地域基礎科目					6					6以上
導入科目	導入科目					8※5					8以上
概論科目	概論科目										6以上※6
専門科目	講義・専門演習										24以上※7
	専門演習（本ゼミ）										4
	卒業研究演習										4
	卒業研究										8
	関連科目。										0以上
卒業所要単位											125

世界教養
プログラム

※他学部と共通

専修プログラム

※国際社会学部独自

関連科目??

2-2. 授業の履修について

—1年生は世界教養プログラムが中心



GLIP (グリップ)

グローバル人材育成プログラム (Global Linkage Initiative Program)

履修案内
p.45

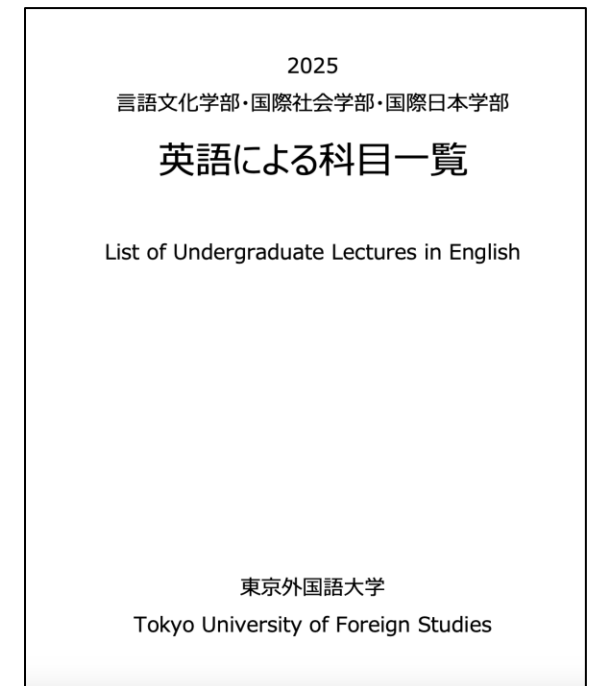
「GLIP英語科目」：語学の授業としての英語の授業

「英語による科目」：教養科目／専修プログラムの講義を英語で受ける・・・

👉『GLIP履修ガイド』

👉オリエンテーション動画 (大学HP)

<https://www.youtube.com/watch?v=6RYIiFbISyk>



教養外国語

マルチリンガルへの道

履修案内
p.45

- ◆ 教養外国語の履修は2年生からがオススメ
- ◆ 教養外国語科目：ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、中国語、朝鮮語、アラビア語。いずれもA（初級レベル）とB（中級レベル）の二つのレベルを設定。
 - （ただし、初めて学ぶ言語の場合はA、Bの同時履修は好ましくありません。また、1年で1言語あたり4単位まで履修できます）
- ◆ 履修方法の詳細についてはそれぞれの言語の担当教員の指示にしたがってください。

★多くの専攻地域では、GLIP英語または教養外国語を選択必修に指定しています。選択必修とする場合、その言語の単位習得にはルールがあります。

教養科目

多分野と広い視野

履修案内
p.39-

卒業までに **16単位**以上履修。

進級要件ではないが、多様な分野に触れることのできる授業群。

英語による授業、他大学・他機関との連携授業も多数。

授業によっては履修年次が限定されているので、それぞれの担当教員の指示にしたがってください。

- 現代教養科目
- 自然科学系科目
- 教養日本力科目
- 世界言語科目
- スポーツ身体科目
- キャリア・協働科目
- 臨地学修科目（スタディツアー）



ウズベキスタン・スタディツアー説明会

日時：2024年11月5日（火）

昼休み 11:50～12:30（昼食持込可）

場所：331 教室



「関連科目」とは??

- 言語文化学部、国際日本学部の授業も取りたい!

(※教職課程や、日本語教師養成プログラムでは他学部の授業を履修する必要有り)

- 他大学の授業も取ってみたい! (他大学との連携: 一橋大学、東京農工大学、電気通信大学、武蔵野音楽大学、お茶の水女子大学、沖縄大学etc...) →履修案内 p.66-



国際社会学部の学生だけど、
言語文化学部の導入科目「言語研究入門」や、国際日
本学部の導入科目「日本史入門」も履修したいなあ・・・!

→卒業単位に「関連科目」として算入されます。

海外留学制度

長短を組み合わせて自分なりの経験を

履修案内
p.60-

留学の種類

□短期留学（ショートビジット）：夏・冬学期の3～6週間…1年次から可

→夏学期ショートビジット説明会4/9, 4/10 (11:50～12:30)

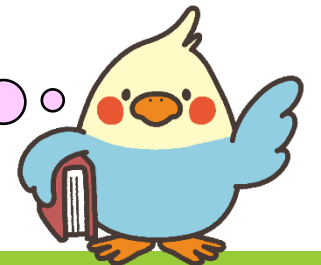
「ショートビジット」<https://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/shortvisit/>

□派遣（交換）留学制度：3カ月以上1年以内…主に3年次以降

□休学留学制度：6カ月～1年…主に3年次以降60単位まで振替認定可)

留学先の大学でとった授業の単位も卒業単位
にいれることができます！

※留学申請時に手続きが必要。



特色ある授業——問題関心・キャリア形成

- 他機関・他大学との連携授業 : JICA, JETRO, 東京農工大学、電気通信大学など
- 公務員試験対応授業
- 多文化共生に関する授業
- AI・データサイエンスに関する授業
- 日本語教師養成プログラム
- 教職課程



パンフレットや案内
冊子があります！



2-3. 専修プログラムとゼミ選択

—国際社会学部独自のカリキュラム



国際社会学部の3コース

歩き方
p.6-

—専修プログラムの授業は全てどれかのコースと関連している



地域社会研究コース

対象とする地域の時間軸(歴史)と空間軸(地図)を柔軟な視点で捉える方法を身につけ、地域にかかわりながらそのリアルを学ぶコースです。

歴史学・地域研究

現代世界論コース

• 哲学、政治学、社会学、ジェンダー論、レイシズム・スタディーズなどのオーソドックスかつ最先端の研究に触れながら、現代世界の諸問題を批判的に考察する方法を学ぶコースです。

国際関係コース

• 社会科学の方法論を体系的に学び、法学、政治学、経済学、国際協力論などの学問分野を専門的に学修し、国際社会を生き抜く知的技術を身につけるコースです。

専修プログラム

履修案内
p.46-

—「導入科目」「概論科目」「専門科目」の三段階

科目区分	授業科目	履修年次	必要単位	
導入科目		1～2年次	8+	所属コースの授業を2単位以上含む
概論科目		2年次～	6+	所属コースの授業を4単位以上含む
専門科目	講義	2年次秋～	24+	所属コースの授業を12単位以上含む
	専門演習	3年次～		
	専門演習（本ゼミ）	3年次～	4	指導教員のゼミ
	卒業研究演習	4年次	4	

大学での学びの集大成として
卒業論文を執筆して卒業！

地域社会
研究コース

現代世界論コース

国際関係コース



卒業所要単位——授業をどう組み立てるか？

授業科目区分	授業科目	進級要件 ※9	標準的な履修年次	北西ヨーロッパ・北アメリカ地域の学生		ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語(ロシア地域)、中国語、朝鮮語、アラビア語を専攻言語とする学生		ポーランド語、チェコ語、モンゴル語、インドネシア語、マレーシア語、フィリピン語、タイ語、ラオス語、ベトナム語、カンボジア語、ビルマ語、ウルドゥー語、ヒンディー語、ベンガル語、ペルシア語、トルコ語を専攻言語とする学生		中央アジア地域(ロシア語・ウズベク語)の学生		アフリカ地域の学生		オセアニア地域の学生	
				1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
世界教養プログラム	基礎科目	基礎リテラシー	○	第1年次春学期	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		基礎演習	○	第1年次秋学期	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	教養科目	教養科目	—	第1年次～第2年次	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上	16以上
		言語科目	専攻言語科目I	○	第1年次	10	10	10	10	20	10	14	16	16	16
	専攻言語科目II		○	第2年次	10	10	10	10	4	12	—	—	—	—	
	専攻言語科目(ウズベク語)		○	第2年次～第4年次	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	専攻言語科目III		—	第3年次～第4年次	必修8	選択必修2	—	—	—	—	—	—	—	—	
	GLIP英語科目 ※1		—	第1年次～第4年次	—	2以上	—	—	—	—	—	—	—	—	
	教養外国語科目 ※1		—	第1年次～第4年次	必修6 ※2	—	必修6 ※2	—	—	—	—	—	—	—	
	諸地域言語科目	—	第1年次～第4年次	—	※3	—	—	—	—	—	—	—	—		
地域科目	地域基礎	○	第1年次 ※専攻(言語)によって異なります。	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上	6以上		
専修プログラム	導入科目	○	第1年次	所属するコースの科目を2単位含む	8以上	所属するコースの科目を2単位含む	8以上	所属するコースの科目を2単位含む	8以上	所属するコースの科目を2単位含む	8以上	所属するコースの科目を2単位含む	8以上		
	概論科目	—	第2年次	所属するコースの科目を4単位含む	6以上	所属するコースの科目を4単位含む	6以上	所属するコースの科目を4単位含む	6以上	所属するコースの科目を4単位含む	6以上	所属するコースの科目を4単位含む	6以上		
	専門科目	講義・専門演習	—	第2年次秋学期～第3年次	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	所属するコースの講義・専門演習を12単位含む	24以上	
		本ゼミ ※6	—	第3年次	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
		卒業研究演習	—	第4年次	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
卒業研究	卒業研究	—	第1年次～第4年次	8	8	8	8	8	8	8	8	8			
関連科目	関連科目 ※7	—	第1年次～第4年次	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上	0以上			
卒業所要単位		—	—	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8	125 ※8			

履修のポイントまとめ

卒業に向けたポイント

- 1.言語科目の卒業所要単位は36単位以上
- 2.必修のGLIP英語／教養外国語は取り方にルール
- 3.必修の言語以外に一定数の選択必修の語学の単位を修得する必要
- 4.導入・概論・専門科目は所属コースの科目から一定数の単位を修得
- 5.自分の入学年度の履修案内にしたがって履修
- 6.所要の125単位ピッタリで卒業しようとしな



2-4. 履修上の注意事項



成績判定（評定）

シラバスでしっかり確認

履修案内

p.22-

■ 成績判定

定期試験、レポート、授業内試験、アクティブラーニング
など（各授業での指示をシラバスや教場で確認）

■ 「成績に関する問合せ」と「異議申し立て」（p.23）

成績に疑問がある場合は、所定の手続きを通して、定められた期間内であれば、問合せや異議申し立てができる。教員の手違いということもまれにはあるので、日ごろから自分でしっかりと管理すること。

不正行為

取り返しのつかない事態にならないよう

履修案内
p.16, 49-

◆試験における不正 p.16

試験：筆記型定期試験、授業内試験、オンライン試験などのすべて

☆試験のルールは各授業ごとに定められます（持ち込み可・不可）

カンニング、代理受験はもちろん、試験実施中の情報交換や許可されていない物品の持ち込みなども不正行為になります

◆提出課題における不正 p.49-

盗用 = 提出する論文やレポートで、他人の論文や記述を、自分で書いたかのように書き写すこと、コピペ ⇒不正行為です。

文章を参照したら、必ず注記が必要（参照すること自体はまったく不正ではありません）

■ A I（ChatGPTなど）の使用について

ルールに則ることが重要 / 授業担当教員の指示に従う

その授業が不合格になるだけでなく、**その学期の他の授業もすべて不合格になる**など、学生身分に関わる処罰(停学など)が下されることも。

「国籍やルーツにまつわる人権侵害 防止のための声明」について

2-5. 履修のための各種システム



学務情報システム

シラバス検索も
履修登録も
学務情報システムから！



1. 大学ホームページのトップから

2. 「在学生の方」をクリック



4. 各自のIDとパスワードでログインする。



3. 「学務情報システム」をクリック

TUFSメール @tufs.ac.jp



大学から配布されるメールアドレスには、今後卒業まで、
大学や教員からの重要な通知が届きます
大学アカウントのメールは常時チェック！

大学HP
→在学生の方
→学修サポートセンター等
→総合情報コラボレーションセンター

学修サポートセンター等



- ➡ 附属図書館
- ➡ TUFSAcademic・サポートセンター (たふさぽ)
- ➡ 英語学習支援センター (ELC)
- ➡ TUFSMoodle
- ➡ ワールド・ランゲージ・センター (LINGUA)
- ➡ 国際教育支援室 (IES)
- ➡ **総合情報コラボレーションセンター (ICC)**

The screenshot shows the ICC website interface. The main content area features a large image of server racks with the text 'Virtual Cluster Storage'. A sidebar on the right contains various links and notices. A red circle highlights the 'ICC Cloud gmail' link in the sidebar, which is titled 'ICC Cloud gmail 電子メールの送受信 (学生対象)'. The link text includes 'ICC Cloud gmail メール転送 (学生対象)' and '電子メールの送受信 (学生対象)'. The sidebar also contains a 'TREND MICRO' logo and a notice about virus distribution.

メール転送の
設定も可能

Moodle for Open Education

レジューメ配布、レポート・レスポンスシートの提出



東京外国語大学 e-Learning

Moodle for Open Education

あなたのアカウントを使用してログインします:



所属大学を選択してログイン / Select your university

to log in

シラバス 授業の内容を知る



(1) 大学HP→在学生の方
→シラバス検索

2023年度	国際社会学部				
地域社会研究入門1					
時間割コード					
19221001					
担当教員 (ローマ字表記)					
大石 高典 [OISHI Takanori]					
授業開講形態	授業形態	単位数	学期	曜日・時限	実務経験のある教員による授業
オンライン		2	春学期	水3	-

授業の目標 (和文)
地域社会とSDGs

Title (English)
Communities, States and the SDGs

授業の目標
国連が推進する持続可能な開発目標 (SDGs) は、地球環境問題や貧困と格差の問題など地球規模課題の解決を謳っている。しかしながら、その核となる概念である「持続可能な発展」は、緊張関係にある資本主義の発展と環境保全や社会福祉を両立させるという矛盾をはらんでいる。国際社会によって、SDGsが絶対的正義であるかのようにして国家や地域社会に押し付けられると、様々な歪みが生じることになる。国際社会と地域社会では、持続性や開発をめぐる認識の違いがあることが少なく

Goals of the course
The Sustainable Development Goals (SDGs), promoted by the United Nations, advocate solutions to global-scale problems, such as global environmental problems, poverty and inequality. However, the concept of 'sustainable development' is a concept of 'sustainable development' that is pushed onto national and regional societies as an absolute justice, which causes various distortions. In international society and regional society, there are differences in recognition regarding sustainability and development. When the SDGs are imp

(3) 授業の目標、授業計画、成績の評価...
などの授業に関する詳細な情報が載っている

(2) 条件を入力して「検索」

時間割作成ガイド

授業の内容を知る

2025年度 授業時間割検索ガイドブック

<はじめに>

このガイドブックには、時間割の検索方法を紹介するだけでなく、各授業科目における「履修上の注意」等を掲載しています。学生各位においては入学時に配付された『履修案内』と併せ、このガイドブックに記載してある事項をよく読み、履修登録を行なってください。

□ 東京外国語大学「シラバス検索」URL：
<https://gakumu-web1.tufs.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SylSearchMain.aspx>

<目次>

1 教務課からのお知らせ・よくある質問 (FAQ) 1

第1部 言語文化学部・国際社会学部 (2019年度以降入学者向け)

- Web 授業時間割の検索方法について 3
- 世界教養プログラム [基礎科目/教養科目/言語科目/地域科目] 5
- 専修プログラム [導入科目/概論科目/専門科目] 18

第2部 国際日本学部 (2019年度以降入学者向け)

- Web 授業時間割の検索方法について 22
- 世界教養プログラム [基礎科目/教養科目/言語科目] 24
- 専修プログラム [多文化協働科目/社会連携科目] 37
- 専修プログラム [導入科目/概論科目/専門科目] 38

第3部 言語文化学部・国際社会学部 (2018年度以前入学者向け)

- Web 授業時間割の検索方法について 42
- 世界教養プログラム [言語科目/地域科目/教養科目] 44
- 専修プログラム [導入科目/概論科目/選択科目] 57

※教職科目は、学務情報システムログイン後、画面右上の「マニュアル」ボタンを押下して『教職ガイド2025.pdf』を確認してください。

国際社会学部の開講授業を調べる

2026年度 東京外国語大学
 国際社会学部「キーワード検索」のすすめ

1 宗教	12 民主主義	23 人権	34 セクシュアリティ
2 信用	13 紛争解決	24 人道	35 移民
3 信用	14 平和構築	25 権力	36 難民
4 労働	15 産業	26 暴力	37 教育
5 国家	16 貿易	27 思想	38 人権
6 ナショナリズム	17 貧困	28 歴史	39 レイシズム
7 グローバリゼーション	18 開発	29 経済	40 エスニシティ
8 帝国	19 法	30 資本主義	41 都市
9 植民地	20 制度	31 社会主義	42 記憶
10 社会運動	21 国際機構	32 環境	43 芸術
11 アクティヴィズム	22 地域機構	33 ジェンダー	44 建築

2 - 6 .

『国際社会学部の歩き方』



地域社会研究コース

教員名	専門分野	研究室	e-mail
青木 雅浩	モンゴル地域研究、中央アジア・東北アジア近現代史	826	masamon@tufs.ac.jp
青山 弘之	現代中東（西アジア・北アフリカ）の政治・思想・歴史	837	aljabal@tufs.ac.jp
足立 享祐	インド地域研究、歴史学（近現代史）、ヒンディー語	802	adachi.kyosuke@tufs.ac.jp
生駒 美樹	文化人類学、ミャンマー・東南アジア地域研究	660	ikoma_miki@tufs.ac.jp
伊東 剛史	イギリス近代史、人と動物の関係史、感情史	626	tito@tufs.ac.jp
大石 高典	生態人類学、アフリカ研究、狩猟採集民、森林と人間	506A	takanori@tufs.ac.jp
小田 なら	東南アジア地域研究、ベトナム現代史	514	naraoda@tufs.ac.jp
小田原 琳	イタリア近現代史、ジェンダー史	760	rodawara@tufs.ac.jp
川本 智史	中東地域研究（トルコ）、都市史・建築史	831	skawamoto@tufs.ac.jp
菊池 陽子	東南アジア近現代史、ラオス近現代史	639	kikuchiyoko@tufs.ac.jp
金 悠進	インドネシア・東南アジア地域研究、ポピュラー音楽	633	kim.yujin@tufs.ac.jp
木村 暁	中央アジア史、中央アジア地域研究	834	s_kimura@tufs.ac.jp
日下 渉	フィリピン地域研究、政治と文化、エスノグラフィー	637	kusaka@tufs.ac.jp
久米 順子	スペイン中世美術史、西洋美術史、文化史	726	kumejun@tufs.ac.jp
倉田 明子	中国・香港近現代史（社会史、キリスト教史）	853	akurata@tufs.ac.jp
近田 亮平	ブラジル研究、ラテンアメリカ地域研究、社会問題	761	r.konta@tufs.ac.jp
坂井 真紀子	農村社会学、アフリカ地域研究、村落開発	720	sakai_makiko@tufs.ac.jp
佐藤 清子	アメリカ合衆国の宗教史	662	sesato@tufs.ac.jp
澤田 ゆかり	中国（含む香港）に関する社会保障と労働問題	852	sawada@tufs.ac.jp
篠原 琢	中央ヨーロッパ近・現代史（18-20 世紀）	718	takus@tufs.ac.jp
鈴木 義一	現代ロシア地域研究、ソ連史、比較経済体制論	704	ysuzuki@tufs.ac.jp
芹生 尚子	近世フランス史、史学史	761	nseriu@tufs.ac.jp
左右田 直規	東南アジア近現代史、マレーシア政治社会史	601	soda@tufs.ac.jp
巽 由樹子	ロシア史、メディア研究	703	tatsumi@tufs.ac.jp
千葉 敏之	ヨーロッパ中世史、キリスト教史、歴史資料体学	649	t-chiba@tufs.ac.jp

どんな教員がいるの？

登利谷 正人	アフガニスタン・パキスタン地域研究・近現代史	851	toriya@tufs.ac.jp
萩尾 生	バスク地域研究、言語社会学	728	shohagio@tufs.ac.jp
福嶋 千穂	近世ポーランド=リトアニア史、前近代のウクライナおよびベラルーシ	717	fsch@tufs.ac.jp
藤井 豪	朝鮮近現代史、韓国現代社会	857	nareh0810@tufs.ac.jp
宮田 敏之	東南アジア経済研究、タイ地域研究、タイ経済研究	531	tmiyata@tufs.ac.jp
山内 由理子	文化人類学、先住民研究、オセアニア地域研究	625	yuriko.yamanouchi@tufs.ac.jp
ルシオ デ ソウザ	近代ヨーロッパ - アジア関係	617	sousa.lucio@tufs.ac.jp

現代世界論コース			
教員名	専門分野	研究室	e-mail
上原 こそえ	社会学、沖縄現代史、社会運動史	551	uehara@tufs.ac.jp
大川 正彦	政治学（原論・政治理論）、倫理学、いのち論	546	okawa@tufs.ac.jp
小野寺 拓也	ドイツ現代史、ナチズム論、日常史、感情史、男性史	647	tonodera@tufs.ac.jp
加藤 美帆	教育社会学、家族社会学、ジェンダーと教育	528	mihokato@tufs.ac.jp
竹田 恵子	ジェンダー／セクシュアリティ研究、メディア研究、社会学	518	keiko_takeda@tufs.ac.jp
田邊 佳美	国際社会学、フランス現代社会研究、移住研究、交差性	723	yoshimi.tanabe.i@tufs.ac.jp
東城 文柄	バングラデシュ地域研究、地理学、RS・GIS、環境地理学	506C	tojo.b21@tufs.ac.jp
中山 智香子	社会思想、経済思想、グローバルスタディーズ	504	nakac@tufs.ac.jp
平田 周	フランス語圏現代思想、グローバルスタディーズ	531	shushu68@tufs.ac.jp
古川 高子*	近現代ヨーロッパ史、アルピニズム、自然の思想史	559	furukawa@tufs.ac.jp
真島 一郎	社会人類学、現代思想、西アフリカ民族誌	503	imajima@tufs.ac.jp
梁 英聖	レイシズム研究、資本主義と差別、在日朝鮮人差別	516	yongsong@tufs.ac.jp

国際関係コース			
教員名	専門分野	研究室	e-mail
内山 直子	ラテンアメリカ地域研究、開発経済学	731	n.uchiyama@tufs.ac.jp
岡田 昭人	比較国際教育学、異文化コミュニケーション	532	aokada@tufs.ac.jp
片岡 真輝	記憶の政治学、フィジー地域研究	631	masaki_kataoka@tufs.ac.jp
菊地 和也	応用経済学、ゲーム理論	554	kkikuchi@tufs.ac.jp
佐藤千鶴子	国際協力論、移民・難民研究、アフリカ地域研究	529	satochi@tufs.ac.jp
篠田 英朗	平和構築、紛争解決、国際秩序論、国際協力、国際組織	505	hshinoda@tufs.ac.jp
鈴木 美弥子	民法、消費者法、環境法	555	mysuzuki@tufs.ac.jp
武内 進一	アフリカ研究、国際関係論、国際協力論	401E2; AA 研棟 611	shinichi_takeuchi@tufs.ac.jp
田島 陽一	国際経済学、開発経済学、メキシコ経済論	556	tajima@tufs.ac.jp
谷 一巳	国際政治論	552	k.tani@tufs.ac.jp
出町 一恵	国際金融論、開発経済論	830C	k.demachi@tufs.ac.jp
富田 晃正	国際関係論、国際政治経済学	652	terumasa@tufs.ac.jp
中谷 純江	平和維持、テクノロジーと安全保障・緊急支援、危機管理	557	sumie.nakaya@tufs.ac.jp
松隈 潤	国際法、国際機構論	550	jmatsukuma@tufs.ac.jp
松永 泰行	比較政治学、政治社会学（争議政治）、国際関係論	524	matsunaga@tufs.ac.jp
吉崎 知典	国際政治、安全保障、国連平和維持活動（PKO）	501	tomoyoshizaki@tufs.ac.jp
若松 邦弘	比較政治（西欧）、福祉・移民・環境など社会争点政治	661	kwakamat@tufs.ac.jp

履修モデル 自分だけのモデルを考えてみよう！

歩き方
p.8-

地域社会研究 コースの履修モデル

Area Studies

Model 1
北西ヨーロッパ・
北アメリカ地域
×
歴史
ヨーロッパの歴史を
深く探求したい！

Model 2
東アジア地域
×
現代社会
経済大国中国の
リアルが知りたい！

Model 3
イベリア・
ラテンアメリカ地域
×
女性
途上国の女性の地位向上
のために働きたい！

1~2 年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

3~4 年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

言語能力を高める授業
地域を深く知る授業
学びの土台をつくる授業
基礎的教養を身に付ける授業

専攻語	1 年生				2 年生				3 年生				4 年生			
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
専攻言語 I (英語 I)	専攻言語 II (英語 II) 教養外国語 (ドイツ語)				専攻言語 III (英語 III) 教養外国語 (ドイツ語)				教養外国語 (スペイン語)							
ブリテン諸島と近世ヨーロッパ史 連合王国の近現代史 ジェンダーから考える近現代アイルランド史	ジェンダーから読み直すアメリカ史 (1) アメリカ史入門 1 周縁から考えるグローバル・ヒストリー				19・20 世紀の西洋/スペイン美術史 感情史の理論と実践 ハプスブルク帝国史研究 Iberian Studies				歴史映画にみるポーランド近世 近世スペイン美術史 ジェンダーと高等教育 感情史とは何か ヨーロッパ国際関係史							
歴史学入門 世界史を開く	現代史と映像 国際政治学入門				西歐現代政治論 ユートピアと社会契約 歴史から教訓は学べるか				卒論演習 卒論テーマ～戦間期イギリスの政治と社会～							
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	教養科目				専門演習 [近代イギリスの政治・社会・文化]											
専攻言語 I (中国語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (中国語 II) GLIP 英語				専攻言語 III (中国語 III)				教養外国語 (朝鮮語)							
現代中国の政治・経済・社会 中国の伝統と現代 中国の輪郭を知る	地域社会と経済生活 ナショナリズムとイスラーム主義 香港と中国の歴史				中台関係論 現代台湾政治 東アジアポピュラー文化の越境移動 現代中国経済論				朝鮮戦争を考える 解放期南北朝鮮の政治と社会 国際経済学 1・2 東アジアの経済発展と開発経済学							
地域研究入門 レイシズム・スタディーズ入門	歴史学入門 グローバルスタディーズの経済思想史				国際金融概論 貿易と直接投資 近代日本の思想とアジア				卒論演習 卒論テーマ～慰安婦問題と東アジア地域～							
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	教養科目				専門演習 [中国・香港の歴史と社会]											
専攻言語 I (スペイン語 I) GLIP 英語	専攻言語 II (スペイン語 II) GLIP 英語				専攻言語 III (スペイン語 III)				教養外国語 (ポルトガル語)							
ラテンアメリカ政治経済入門 ブラジル地域研究入門 美術・建築からみるスペイン史	ジェンダーから読み直すアメリカ史 (1) 周縁から考えるグローバル・ヒストリー ジェンダー史概論				伝統とともに今を生きる先住民民族マヤ ブラジルの人と社会 国際社会の中のブラジル 近現代ベトナムの性と政治				ジェンダーと高等教育 カナダの歴史 アフリカ人類学 国際法 実務的側面から見た国際機関							
地域研究入門 ジェンダー論入門	現代史と映像 クワイア・スタディーズ				国際法概論 Gender and Globalization ジェンダーとキャリア形成の国際比較				卒論演習 卒論テーマ～米墨国境での移民女性への暴力～							
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	教養科目				専門演習 [アメリカ地域研究演習]											

● は地域基礎 (必修)、● は地域社会研究コース、● は現代世界論コース、● は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。

現代世界論 コースの履修モデル Contemporary Global Studies

1~2年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

- 言語能力を高める授業
- 地域への理解を深める授業
- 専門知を究める授業
- 基礎的教養を身に付ける授業

3~4年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

Model 1
中央ヨーロッパ地域
×
環境
環境先進国ヨーロッパの
経験から学びたい！

Model 2
東南アジア第1地域
×
ジェンダー
エンタメ産業における
ジェンダー問題を
考えたい

Model 3
西南ヨーロッパ地域
×
移民・教育
移民のこどもたちを
笑顔にしたい！

1年生				2年生				3年生				4/5年生			
春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬
専攻言語Ⅰ (ドイツ語Ⅰ) GLIP 英語 ショートビジット ミュンヘン大学 (独)				専攻言語Ⅱ (ドイツ語Ⅱ) 教養外国語 (フランス語)				教養外国語 (フランス語)				教養外国語 (イタリア語)			
ドイツ・ヨーロッパ中世史 ドイツ語圏の文化 考える世界史				ドイツ近現代史 中東欧国際関係史 政治学原論-倫理と環境正義 グローバルスタディーズの経済思想史 歴史資料体論 国際政治学入門				現代世界論概論ⅠA 自然と人間の社会史 環境保全論Ⅰ・Ⅱ 環境保護・脱原発のドイツ・ヨーロッパ史				感情史の理論と実践 ドキュメンタリー映画論 感情史とは何か 歴史から教訓は学べるか 西欧現代政治論			
歴史学入門 政治学原論-倫理と政治				政治学原論-倫理と環境正義 グローバルスタディーズの経済思想史 歴史資料体論 国際政治学入門				現代世界論概論ⅠA 自然と人間の社会史 環境保全論Ⅰ・Ⅱ 環境保護・脱原発のドイツ・ヨーロッパ史				ドキュメンタリー映画論 感情史とは何か 歴史から教訓は学べるか 西欧現代政治論			
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目 西東京三大学「協働基礎ゼミ」				教養科目				専門演習 「環境保全論演習」				卒論演習 卒論テーマ～ヨーロッパにおける環境意識の変遷～			
専攻言語Ⅰ (フィリピン語Ⅰ) GLIP 英語				専攻言語Ⅱ (フィリピン語Ⅱ) GLIP 英語 ショートビジット デラサール大学 (比)				専攻言語Ⅲ (フィリピン語Ⅲ) 島嶼部東南アジア政治経済社会史 東南アジアの物質文化 近現代ベトナムの性と政治				教養外国語 (朝鮮語) 医療から見るベトナム近現代史 森崎和江とフェミニズム ジェンダーとキャリア形成の国際比較 ドキュメンタリー映画論 自由論			
フィリピン研究入門1 フィリピン研究入門2 東南アジア研究入門				ジェンダー史概論 東南アジア地域研究特論				現代世界論概論ⅠA ケアの倫理と政治理論 日常生活とつながるジェンダー1・2				ドキュメンタリー映画論 自由論			
文化人類学入門 レイシズム・スタディーズ入門				ジェンダー論入門 質的社会調査法 フィア史の探求				現代世界論概論ⅠA ケアの倫理と政治理論 日常生活とつながるジェンダー1・2				ドキュメンタリー映画論 自由論			
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目				教養科目				専門演習 主:「社会学専門演習」 副:「ジェンダー論演習」				卒論演習 卒論テーマ～アジアにおける女性とエンタメ～			
専攻言語Ⅰ (フランス語Ⅰ) GLIP 英語				専攻言語Ⅱ (フランス語Ⅱ) GLIP 英語				専攻言語Ⅲ (フランス語Ⅲ) 近世フランスにおける民衆の経験を考える <境界>としてのイタリア				教養外国語 (アラビア語) アフリカ文化論 レイシズム・スタディーズ1・2 市民権/国籍の政治社会学 国際教育論 紛争後社会と和解			
パリ市を通して見るフランス社会 フランス史概説 History of Contemporary France				アフリカ地域研究入門 ナショナリズムとイスラーム主義				私たちのアナキズム研究 「教育問題」と社会学 国際社会学 移民と国家の社会学 感情史とは何か				アフリカ文化論 レイシズム・スタディーズ1・2 市民権/国籍の政治社会学 国際教育論 紛争後社会と和解			
現代史と映像 政治学原論-倫理と政治 レイシズム・スタディーズ入門				文化人類学入門 政治学基礎 ユートピアと社会契約 質的社会調査法				現代世界論概論ⅠA ケアの倫理と政治理論 日常生活とつながるジェンダー1・2				アフリカ文化論 レイシズム・スタディーズ1・2 市民権/国籍の政治社会学 国際教育論 紛争後社会と和解			
基礎リテラシー・基礎演習 教養科目 国連スタディーツアー				教養科目				教職課程プログラム 専門演習 「国際社会学演習」				卒論演習 卒論テーマ～移民のこどもとフランス社会～			

は地域基礎 (必修)、 は地域社会研究コース、 は現代世界論コース、 は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。

国際関係 コースの履修モデル International Relations

Model 1
オセアニア地域
×
国際法
先住民の権利の問題を
SDGsの観点から考えたい！

Model 2
南アジア地域
×
国際政治
外交官として日本と外国を
繋ぐ架け橋になりたい！

Model 3
東南アジア第2地域
×
経済
グローバル・バリュー
チェーンの課題について
考えたい！

1~2年次：専攻語の運用能力を高めると同時に、専攻地域に応じた「地域基礎」を必ず履修し、地域の歴史・社会を詳しく学びます。導入科目を広く履修し、幅広い土台作りを心掛ける時期でもあります。

- 言語能力を高める授業
- 地域への理解を深める授業
- 専門知を究める授業
- 基礎的教養を身に付ける授業

3~4年次：それまでに修得した語学を武器に、地域に関する知識を深めつつ、ゼミを中心に「専門知」に磨きをかけていきます。多くの学生が留学プログラムに参加するなど、「専門知」の学びの場は世界に広がります。

1年生	2年生				3年生				4年生										
	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬	春	夏	秋	冬							
専攻言語Ⅰ (英語Ⅰ) GLIP 英語 オセアニア地域基礎 オセアニアの歴史と社会 (1)(2) 法学 レイシズム・スタディーズ入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅱ (英語Ⅱ) 諸地域言語 周縁から考えるグローバル・ヒストリー 地域社会とSDGs ミクロ経済学入門 グローバルスタディーズの経済思想史 Theory and Practice of United Nations 教養科目	専攻言語Ⅲ (英語Ⅲ) GLIP 英語 パキスタン・アフガニスタン研究入門 ナショナリズムとイスラーム主義 国際政治学入門 政治分析入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅳ (英語Ⅳ) GLIP 英語 国際法概論 国際法総論 グローバルスタディーズの経済思想史 Theory and Practice of United Nations 教養科目	専攻言語Ⅰ (ヒンディー語Ⅰ) GLIP 英語 南アジア研究入門1 南アジア研究入門2 パキスタン研究入門1 国際政治学入門 政治学原論～倫理と政治 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅱ (ヒンディー語Ⅱ) GLIP 英語 南アジア研究入門1 南アジア研究入門2 パキスタン研究入門1 国際政治学入門 政治学原論～倫理と政治 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅲ (ヒンディー語Ⅲ) GLIP 英語 アフガニスタン・パキスタン 近現代政治社会史1・2 国際法概論 歴史認識論 国際法Ⅰ・Ⅱ 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅳ (ヒンディー語Ⅳ) GLIP 英語 アフガニスタン・パキスタン 近現代政治社会史1・2 国際法概論 歴史認識論 国際法Ⅰ・Ⅱ 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅰ (タイ語Ⅰ) GLIP 英語 タイ研究入門1・2 東南アジア研究入門 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅱ (タイ語Ⅱ) GLIP 英語 タイ研究入門1・2 東南アジア研究入門 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅲ (タイ語Ⅲ) GLIP 英語 タイ研究入門1・2 東南アジア研究入門 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅳ (タイ語Ⅳ) GLIP 英語 タイ研究入門1・2 東南アジア研究入門 ミクロ経済学入門 マクロ経済学入門 基礎リテラシー・基礎演習 教養科目	専攻言語Ⅰ (フランス語) GLIP 英語 「先住民(族)」からみる 「先住民」から考える 国際秩序論 国際法Ⅰ・Ⅱ 国際法事例研究 グローバル環境ガバナンス 専門演習 「国際法演習」	専攻言語Ⅱ (フランス語) GLIP 英語 「先住民(族)」からみる 「先住民」から考える 国際秩序論 国際法Ⅰ・Ⅱ 国際法事例研究 グローバル環境ガバナンス 専門演習 「国際法演習」	専攻言語Ⅲ (フランス語) GLIP 英語 「先住民(族)」からみる 「先住民」から考える 国際秩序論 国際法Ⅰ・Ⅱ 国際法事例研究 グローバル環境ガバナンス 専門演習 「国際法演習」	専攻言語Ⅳ (フランス語) GLIP 英語 「先住民(族)」からみる 「先住民」から考える 国際秩序論 国際法Ⅰ・Ⅱ 国際法事例研究 グローバル環境ガバナンス 専門演習 「国際法演習」	専攻言語Ⅰ (イタリア語) GLIP 英語 カナダの歴史 実務的側面から見た国際機関 開発経済学 比較福祉政治 現代社会論 卒論演習 卒論テーマ～先住民の権利保護と持続可能な開発～	専攻言語Ⅱ (イタリア語) GLIP 英語 カナダの歴史 実務的側面から見た国際機関 開発経済学 比較福祉政治 現代社会論 卒論演習 卒論テーマ～先住民の権利保護と持続可能な開発～	専攻言語Ⅲ (イタリア語) GLIP 英語 カナダの歴史 実務的側面から見た国際機関 開発経済学 比較福祉政治 現代社会論 卒論演習 卒論テーマ～先住民の権利保護と持続可能な開発～	専攻言語Ⅳ (イタリア語) GLIP 英語 カナダの歴史 実務的側面から見た国際機関 開発経済学 比較福祉政治 現代社会論 卒論演習 卒論テーマ～先住民の権利保護と持続可能な開発～

●は地域基礎(必修)、●は地域社会研究コース、●は現代世界論コース、●は国際関係コースで開講されている授業を指します。丸印のなかの「入」は導入科目、「概」は概論科目、「専」は専門科目を意味します。



国際社会学部の歩き方 2026



9. よくある質問コーナー

Q1. 入学前に ICC アカウントとパスワードが配布されたそうですが、受け取っていません。どうすればよいですか？

A1. ICC アカウント取得に関するお知らせは、入学手続きの際に住所等と一緒にウェブページに入力されたメールアドレス宛に送られています。もう一度確認してみてください。メールを受け取っていない/紛失した場合は、東京外国語大学総合情報コラボレーションセンター（ICCセンター）に連絡してください。 E-mail: icc-service@tufs.ac.jp

Q2. 春学期の GLIP 科目の履修や登録方法について質問があります。どこに連絡すればいいですか？

A2. GLIP デスクに問い合わせてください。
GLIP デスク（研究講義棟 412 教室） E-mail: glip@tufs.ac.jp Tel: 042-330-5366

Q3. 春学期は何コマくらい履修すればいいですか？

A3. **12-15 コマ**をおススメします。必修科目、進級要件科目を中心にまず時間割を組み、そこに教養科目を足していく、というイメージが良いと思います。

Q4. 授業をどうしても欠席しないとけません。どんな手続きが必要ですか？

A4. 欠席には公欠になるものとならないものがあります。履修案内をよく読み、必要な手続きをしてください。

Q5. 履修している科目の担当の先生に連絡したいことがあります。メールアドレスが分からないのですが、どうすればいいですか？

A5. 大学ホームページの「研究者一覧」には外大所属の教員が全員載っています。ここに目指す先生がいるか、その先生のページにメールアドレスが書いてあるか、確認しましょう。
<http://www.tufs.ac.jp/research/researcher/people/index.html>

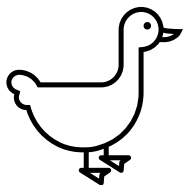
Q6. 確認しましたが、そこには先生の名前（メールアドレス）がありませんでした。どうしたらいいですか？

A6. 非常勤の先生については、個人情報の観点から情報は公開されていません。授業時間中に連絡を取ることを優先してください。緊急の場合は教務課に相談してください。また、下記の科目群については、それぞれ担当の専任教員にも相談してみてください。

- ・ 専攻言語・地域基礎の場合→専攻言語代表教員
- ・ 地域代表教員 教養外国語の場合→教養外国語担当教員
- ・ GLIP 科目の場合→GLIP デスク

3. 学生生活について

詳しくは大学HP「在学生の方」もご覧ください！



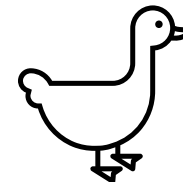
様々な支援体制（1）

- たふさぽ（TUFSAアカデミック・サポート・センター）（研究講義棟 1 階）
- 保健管理センター（本部管理棟隣）
- 学生相談室

- グローバル・キャリア・センター/G C C（研究講義棟2階）
 - ☞ 就活を全面バックアップ

- 留学支援共同利用センター（研究講義棟 2 階）
 - ☞ 留学に関する情報収集、相談はこちら

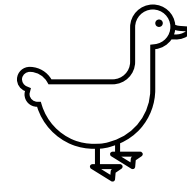
- 多言語コンシェルジュ・学習相談デスク（図書館2F）
 - ☞ 大学院生が学習上のアドバイス（レポートの書き方など）



様々な支援体制 (2)

歩き方
p.24-

- E L C (英語学習支援センター) …研究講義棟3階304室
- 学生課・教務課 (本部管理棟1F)
 - ☞ 学生生活や履修・成績関連一般はこちら
- 個別の教員 (地域代表教員、指導教員など)

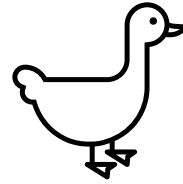


★緊急の相談

犯罪、盗難等に関する事、経済的な問題など相談先が分からない場合など、緊急に相談したいことがある場合

TUFS110連絡フォーム：<https://sanda.tufs.ac.jp/tufs110/form/>

何をどこで相談するか



以下のような悩みがあったら・・・

✓ 修学上の問題について

✓ 将来（ゼミ選択、コース選択、進学）について ⇒ **たふさぽ**へ

✓ 心の健康について

✓ 日常生活（人間関係の悩み、生活の乱れetc）について ⇒ **学生相談室**へ

✓ 心身の不調

✓ 急な病気や怪我 ⇒ **保健管理センター**へ

✓ 障がい等の修学上の困難 ⇒ **合理的配慮**の申請（教務課）

TUFS アカデミック・サポート・センター (たふさぽ)

歩き方
p.25-

アクセス：研究講義棟 1階北側エントランス横

開室時間：春・秋学期 月～金 10：00～15：00（8月は閉室）

最新の情報（イベントも多数）は、大学HPでご確認ください。

<http://www.tufs.ac.jp/institutions/facility/tufssupport/>



連絡方法：電話042-330-5885／

メール academic-support-center@tufs.ac.jp

学生相談室

学生生活の悩みや心の健康について気軽に相談



相談窓口
ガイド

アクセス：保健管理センター棟 1 階 北口ドアより

開室時間：月～金 10：00～ 16：00（12：30～13：30は昼休み）

相談申し込み方法（予約制）

★電話：042-330-5560(受付直通)

★直接受付に行く

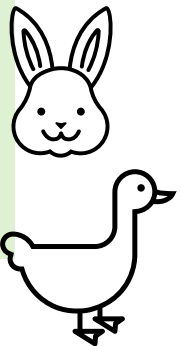
★Webから申込（大学のGoogleアカウントでログインが必要です）

<https://forms.gle/GnMsae1TzziXZZr47>



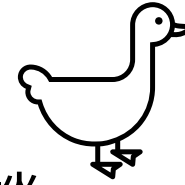
悩みに応じて相談先を選べます

- ①学生支援担当教員
- ②カウンセラー(臨床心理士・公認心理師)への相談



保健管理センター

身・心の健康上の不調や問題等について医師や看護師に相談



相談窓口
ガイド

アクセス：保健管理センター棟 1 階 北口ドアより

医師の担当する「内科診療・相談」

曜日：月曜～水曜・金曜日(木曜・土日・休日を除く)

時間：10:00～12:15、13:30～15:00

看護師の担当する「応急処置・相談」

曜日：月曜～金曜日(土日・休日を除く)

時間：9:30～12:15、13:30～16:00

学校医(非常勤)の担当する「精神科相談」

曜日：火曜午後と木曜午後の月 1 回：予約が必要で、時間帯は予約時に確認。

予約受付は電話(042-330-5435)のみ可(メールでの予約受付は不可)。

悩みがあったら・・・

自分ひとりで抱え込まずに、気軽に相談してください！

まずは

「たふさぽ」&「学生相談室」へ！



2 - 7 . より深い学びへ



大学院

より高度な専門研究へ、**研究者**への道

大学院総合国際学研究科

博士前期課程（修士号）・博士後期課程（博士号）

ダブル・ディグリー修士プログラム

公共圏 における歴史

History in the Public Sphere

hips

HIPSとは
連邦ドイツ、History in the Public Sphere [公共圏における歴史]は、東京外国語大学とドイツ・フランクフルト大学との共同プロジェクトが中心となり、日本とヨーロッパの両国で活躍する国際学者の協働による「ダブル・ディグリー」プログラムです。この国際交流プログラムによる「大学の国際化の推進」とヨーロッパ圏内での「エクスチェンジ・プログラム」を通じて両国の文化を学びます。公衆の関心と国際化を推進し、今後の社会の発展に、両大学が有する国際的ネットワークを最大限に活用し、2つの学位を取得することができます。

東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

東京外国語大学 大学院総合国際学研究科博士前期課程
公衆圏の歴史と文化の国際化を推進し、国際化を推進する
「歴史と公共圏を軸とした国際人材育成プログラム」

Inter-University Exchange Project
- Support for the Formation of Collaborative Programs with African Universities -

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」
- アフリカ諸国との大学間交流形成支援 -

Innovative Africa:

Educational Networking Programs for Human Resource Development in Africa's SDGs

アフリカにおけるSDGsに向けた
高度イノベーション人材育成のための
国際連携教育プログラム

東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

共同サステナビリティ専攻 (博士後期課程)

本学・東京農工大学・電気通信大学の三大学が共同で設置する
複合新領域の研究専攻
(文理融合型・SDGs)

『ピエリア』

❶ 出版業界に関心がある学生は注目！

教員と学生が編む東京外国語大学出版会の広報誌



本学教員が特定の主題から
〈学問の世界〉に皆さんを誘う珠玉のエッセイ集



2 - 8 . これからのスケジュール



春学期の履修登録

2026年度 春学期のスケジュール

授業開始	4月8日（水）
抽選登録期間（GLIP英語科目）	4月1日（水）～3日（金）
（教養外国語科目）	4月1日（水）～6日（月）
履修登録期間	4月7日（火）～14日（火）
履修登録修正期間	4月15日（水）～4月21日（火）
履修中止期間	5月11日（月）～12日（火）

※履修登録期間は、夏学期、秋学期、冬学期にもあります。

期間厳守、全ての授業を、学務情報システムから自分で履修登録すること

「基礎リテラシー」「基礎演習」は特に注意。基礎リテラシーは必ず4月7日からの履修登録期間に自分で履修登録してください！

履修相談コーナー

まずは『履修案内』『国際社会学部の歩き方』等の案内をよく読み、各自で履修の計画をたてる。それでも疑問がある場合は・・・

■履修相談コーナー

教員が個別相談に応じます。

4月7日（火） 11：00～12：30 大会議室

※大会議室；本部管理棟の2階

さらに、疑問がある場合は、以下に相談：

- ・教務課窓口
- ・各専攻地域代表教員